

## 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	ブナの里山村活性化推進協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和2年度)
2. 取組振興山村名	黒松内町(黒松内村、熱郭村、樽岸村)	令和元年度	令和3年度	令和2年4月1日～令和3年3月31日
3. 事業費(うち国費)	9,904,077円(9,904,072円)			
4. 第三者氏名	株式会社コムズワーク代表取締役/農業生産法人コムズファーム代表取締役 竹ノ内 久			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント)		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	○関係団体と連携し、住民を巻き込みながら、積極的な事業展開がなされている。 ○継続的な事業実施により、令和3年度の数値目標達成のために着実な成果が上がってきている。 ○①から④の実施結果からA評価とする。		
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	○新商品開発のプレスリリース等積極的なPRや、キッチンカーを活用したテストマーケティングなど販路拡大を見据えたマーケティングが行われているが、ロットを揃えられず、販売機会を喪失している商品もあるため、生産体制のフォローもしていく必要がある。		
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象	○令和2年度の目標として掲げた3つの目標(商品開発数、売り上げ、雇用人数)を全て達成し、特に開発商品数においては、当初目標以上の商品の開発が達成されており、高い評価に値する。		
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)	○当初の計画通りに、協議会とワーキング会議の開催を実施し、関係者間の密な合意形成のもとに商品開発及びブランディングといった目標達成がなされており、協議会の取り組み体制は十分に機能していたものと評価する。		
④ その他				
○事業完了以後も持続的に商品開発に取り組んでいくことが望まれる。そのための体制構築を最終年となる令和3年度に整備しておくことが望まれる。				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。